



2021年（令和3年）2月15日

まだまだ寒い日もありますが園庭の木の芽や花のつぼみも少しずつ膨らみはじめています。入学を控えた子どもたちの姿も随分大きくなったと感じさせてくれる今日この頃です。

さて、先週金曜日には今年2回目「ことばの相談室であそぼう」がありました。子どもたちにとって、“いつもはいけなけれど今日はちょっと特別に行ける日”と楽しみにやってきました。遊びの様子を少しお知らせします。

お口のたいそう

ねらい：唇、頬、舌を自由に動かす感覚をつかむ。

唇を閉じてほっぺを膨らませてぶくぶく……。発音のための筋肉トレーニングです。パタカ体操では、パタカパタカ……と連続5回にチャレンジ。途中でパタカと崩れそうになっても、真剣に舌をコントロールしながら練習をしました。皆の前で連続5回パタカを皆に披露し、拍手をもらって嬉しそうにしていました。



耳より情報～あるテレビ番組で放送されました～

コロナに負けないぞ！お口のケアで免疫力アップ！

口から免疫力をあげるには、よく噛んで唾液を出すこと。口の中が乾燥すると、虫歯や歯周病菌、そして、ウイルスまで寄せ付けてしまいます。唾液を増して口の中にバリアをつくる「舌の体操」「パタカ体操」も、免疫力アップに効果ありということです。ぜひ、お子さんと一緒にやってみましょう。

ほっぺを膨らませて
ブクブクブク

絵サイコロを
使ったよ



音節すごろく

ねらい：音節を意識しながらすごろく遊びを友達と一緒に楽しむ。

生き物や食べ物の絵サイコロを使用しました。例えば、あおむしの絵が出たときは、“あ・お・む・し”と唱えながら音節を意識し進めていくすごろく遊びです。あと3個いくとあがりなので、“い・ち・ご”が出てきますようにと見通しをもちサイコロを振っている子どもの姿も見受けました。楽しくて3回も4回も繰り返し遊びを楽しんでいました。

